

建設の施工企画

2004年12月号 No.658

目次

新技術・新工法特集

1	グラビア	新技術・新工法	
3	巻頭言	「正常化の偏見」を減らす	関 克己
4		公共工事における新技術の活用促進への取り組み	森下 博之
10		硬質地盤の無排土掘削工法（RPB工法）と環境施工への適用	松澤 一行
15		非開削による配管埋設技術の高度化	
		—インテリジェント誘導式水平ドリル工法—	和田 洋
21		高橋脚の短期施工法—3H工法—	福井 次郎・笹谷 輝勝
27		低公害型解体工法を支える大型機械	森川 勝
31		放電衝撃力破砕技術と施工適用例	荒井 浩成
38		乾式ワイヤーソーイング工法	三中 達雄・松原 裕行・平田 芳己
43	ずいそう	溪流釣りから垣間見る「生命」	齋藤 隆之
44	ずいそう	いまどきの季節に思う	野口 通成
45	交流のひろば	日本におけるロボット教育	
		—智力、創造力を育む進化系のオリジナルロボット学習教材—	
			株式会社 JAPAN ROBOTECH
47	JCMA 報告	ショベル技術委員会の活動報告	機械部会ショベル技術委員会
48	CMI 報告	後注入方式「PG ボルト」の開発	亀岡 美友・横沢圭一郎・篠原 雅人
50	新工法紹介		広報部会
54	新機種紹介		広報部会
58	統計	(2004年9月)	広報部会
59	行事一覽	(2004年10月)	
62	編集後記		(加藤・山崎)
(1)	既刊目次一覽		

◇表紙写真説明◇

超大型解体専用機 SK 1600 D
コベルコ建機株式会社

表紙写真にて紹介されている機械は、コベルコ建機株式会社が、より高い能力を持つ解体機のニーズに応えるべく開発した世界最大級の超大型解体機 SK 1600 D（基礎解体アタッチメント装着）です。

本機では四折れ及び三折れロングアタッチメントを装着することにより、地上高さ 50 m 程度までのビル解体に対応することができます。またロングアタッチメントから基礎解体アタッチメントに交換し、世界最大の超大型圧砕機 KR 3000 R（最大開口幅 3,000 mm、圧砕力 6,566 kN）を装着することにより、基礎スラブ、基礎梁といった頑強な基礎構造物の解体を低騒音、低振動、安全かつ効率的に解体することができます。

詳細は、本誌 30 ページを参照下さい。